



# 福岡教育大学 (福岡県)

・7つの附属学校園との交流や、人文・社会科学，自然科学，音楽，美術，書道，体育等の科目受講を通じて日本文化を福岡で学びませんか

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

本学は、九州で唯一の教員養成単科大学で、教育学・心理学・特別支援教育・各教科教育学の外、人文・社会・自然・芸術・スポーツ科学・家政学等、教科内容に関する多様な専門学術分野の教員を擁する大学です。令和5年度よりグローバルラーニングセンターを立ち上げ、受入留学生の支援も行っています。

○学生・教員現員 (2023年5月1日現在)

学生	学部レベル	2575人
	大学院レベル	101人
教員		161人

### ② 国際交流の実績

- ・外国人留学生数 8人 (3カ国)
- ・国際交流協定校 9校

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生 (日研生) の受入れ実績

2023年：留学生数 8人／日研生0人

2022年：留学生数 7人／日研生2人

2021年：留学生数 8人／日研生2人 (各年度5月現在)



### ④ 地域の特徴

大学が所在する宗像市は、福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、豊かな自然環境に囲まれ、大陸との交流窓口として発展してきました。

また2017年、宗像市の「神宿る島」として沖ノ島を初めとした関連遺産群が世界遺産に認定され、貴重な歴史遺産に接することができます。

## ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

- a) 主に日本事情・日本文化に関する研修



### ② 研修・コースの特色

本コースでは、留学生対象の授業を履修するとともに、指導教員のもとで専門分野の学修を行うことで、日本語と日本文化に関する総合的な研修を受けることができます。日本語教育レベルは、JEES (日本国際教育支援協会) の日本語能力試験「N2レベル」程度である。読む、書く、漢字、コミュニケーション、聴解、総合表現等のクラスが開設されている。

### ③ 受入定員

10名 (大使館推薦5名、大学推薦5名)

### ④ 受講希望者の資格、条件等

- ・原籍大学で、日本語や日本文化に関する領域を専攻していること。
- ・日本語能力試験 (JLPT) でN2以上であると判断できること。

### ⑤ 達成目標

留学期間を通して、日本の文化や教育制度に対する理解を深め、研究結果の発表をします。

### ⑥ 研修期間 (在籍期間)

2024年10月上旬 ~ 2025年9月下旬  
(2024年10月1日 ~ 2025年9月30日)

### ⑦ 奨学金支給期間

2024年10月 ~ 2025年9月

### ⑧ 研修・年間スケジュール

- 10月上旬 渡日  
10月 留学生オリエンテーション  
後期授業開始  
11月 日本理解特別プログラム (体験型研修)  
12月 市民との文化交流会 (地域の日本文化体験イベントについて、参加した留学生が発表する)  
2月 後期留学生研究発表会  
4月 留学生オリエンテーション  
前期授業開始  
6月 地域の歴史・文化体験  
7月 日本理解特別プログラム (体験型研修)  
8月 前期留学生研究発表会  
9月 コース修了認定  
9月下旬 帰国

(※感染症対策などで変更の場合もあります。)



附属中学校での交流会の様子

## ⑨ コースの修了要件

コース修了時に最終レポートを提出、研究発表を行います。このレポート及び履修科目、ホームルーム出席状況等について、指導教員・留学生担当教員による総合的評価をもとに、コース修了証の授与を受けることができます。（早期修了も可能）

### ○必須要件

- ・ホームルームへの参加
- ・留学生対象授業・日本語科目への参加
- ・コース修了時の研究発表

### ○単位取得（成績）証明書

履修する全科目（「日本語補講」を除く）について発行可能。「日本語補講」については単位認定は行いませんが、受講証明書発行は可能です。

## ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

### 1) 研修・コース科目の特徴

授業は、留学生向けのものだけでなく、空いている時間に日本の学生と並んで正規の授業【学部開設科目】を受講することもできます。

また、本学は地元の宗像市との地域交流が盛んであり、例えば「お月見会」「着付け体験」といった日本文化に触れることができる行事があります。地域の小中学生に自国の文化を紹介する講師として参加することもできます。

すべての日研生には、学生チューターが配置され、一緒に勉強したり、留学生活に関する相談をしたりすることができます。



着付け体験の様子

### 2) 研修・コース開設科目

#### I) 必須科目（各15コマ・30時間）・内容

- 「比較教育文化論A」  
文化、習慣の違いからくるトラブル事例を学ぶ
- 「異文化交流の心理学」  
テーマを設定し、議論により異文化理解を学ぶ
- 「日本語」
- 「日本語補講」
- 「留学生ホームルーム」  
留学生、留学生担当教員で様々なテーマについて議論する
- 「日本事情A・B」  
日本と母国の文化や社会について相互的に学ぶ
- 「日本の教育制度A・B」  
現代日本の教育制度について基礎的概要を学ぶ
- 「比較教育文化論B」  
文化、習慣の違いからくるトラブル事例を学ぶ
- 「多文化間心理学」  
テーマを設定し、議論により多文化理解を学ぶ  
【※最終レポートは研修期間に完成させる】

#### ●最終レポート及び研究発表

留学生活で調べた研究テーマについてレポートを作成し、研究発表会で発表します

#### II) 選択科目（各15コマ・30時間）・内容

学部開設科目（授業担当教員に相談すること）

### 3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

・グローバルラーニングセンター実施・運営による日本理解特別プログラム（体験型研修）

日本の文化や教育制度などについて、体験的に学ぶことを目的としています。例えば、日本や宗像地域の文化・歴史学習を行うため、博物館見学や体験活動、研修旅行に行くこともあります。



弓道体験の様子



研修旅行の様子

### 4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

#### ・「日本事情A・B」

日本の文化、社会についてのテーマを掘り下げていくために、日本の学生との話し合いによって日本についての認識を深め、それによって自分自身の持つ文化的特徴をも把握していくことを目標とします。

#### ・「異文化交流の心理学」「多文化間心理学」

前期・後期ともに、日本学生との合同授業である。毎回、あるテーマ（食べ物、自分の将来など）やトラブルの事例をめぐって留学生と日本人学生とが小グループディスカッションを行い、出会い体験をします。

また、留学生自らも母国についてのレクチャーを行います。留学や移民などの異文化接触に伴う心理的過程や育児文化等についても学びます。

#### ⑩指導体制

・指導教員：専門分野に関わる指導、研究発表および最終レポート作成の指導、学修や日本生活に関わる相談

・留学生担当教員：留学生対象必修科目・選択科目の授業担当、授業分野に関わる指導、「ホームルーム」の実施・運営、学修や日本生活に関わる相談

## ■宿 舎

- ・福岡教育大学学生寮
  - ・大学近辺の民間アパート等に入居可能です。
- ※いずれも、渡日後に手続きを行います。

## ■修了生へのフォローアップ

・修了・帰国後、当該修了生から相談のある場合は、個別に対応しています。

## ■問合せ先

<担当部署>

福岡教育大学連携推進課

住所：〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1

TEL： +81-940-35-1556（直通）

FAX： +81-940-35-1700

Email： ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp

<ウェブサイト>

福岡教育大学：

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp>